

松江赤十字病院 『患者さまの権利章典』

「医療は、患者さまと医療提供者とのお互いの信頼関係をもとに協力して作り上げていくものであり、患者さまに主体的に参加していただく必要があります。」
このような考え方にもとづき、松江赤十字病院は、患者さまの権利や責務についてつぎのとおり表明します。

1. 患者さまには、医療提供者との相互の協力関係のもと、良質な医療を公平に受ける権利があります。
2. 患者さまには、診療に関して十分な説明と情報の提供を受ける権利があります。
3. 患者さまには、医療に関する説明を受けてもよく理解できなかったことについて十分理解できるまで質問する権利があります。
4. 患者さまには、医療従事者が提案する治療法に対して自らの意思で決定できる権利があります。
5. 患者さまには、診療の過程で得られた個人情報の秘密が守られる権利があります。
6. 患者さまには、医療提供者に対し患者さま自身の健康に関する情報をできるだけ正確に提供する責務があります。
7. 患者さまには、病院の規則を守る責務があります。

くつぎたいは

第30号(2009年 秋号) 松江赤十字病院

病院理念

松江赤十字病院は、地域の中核医療機関として、「高度」「良質」「公正」な医療を提供します。

カプセル内視鏡導入

消化器内科副部長 藤澤智雄



胃カメラを代表とする消化器内視鏡の進歩は目覚しく、大腸精密検査の主流も内視鏡となっています。しかしながらこの分野において、十二指腸から奥の小腸は長年到達が困難であったため「暗黒大陸」とさえ呼ばれ、内視鏡の進歩から取り残されてきました。

二〇〇〇年代に入り、カプセル内視鏡の開発によって小腸にも光が届くようになり検査が可能となってきました。カプセル内視鏡の最大の特徴は、やはり苦痛を伴うことなく一回の

検査で小腸全体の観察が可能であることです。

現在、上部消化管内視鏡(胃カメラ)においてもどんどん細くなってきたおり、昔にくらべれば非常に楽になってきています。また、当院ではまだ導入されていませんが、鼻から挿入する経鼻内視鏡も出現しており、さらに患者さんの苦痛が軽くなってきたいます。それでも全く違和感を覚えないう方はほとんどいないはずですが、しかし、カプセル内視鏡は、



飲み薬よりやや大きめのカプセルを飲み込み

さえすれば、後はほぼ日常生活が可能で、その間に小腸の写真をたくさん撮影し後から解析するため患者さんの体への負担がほとんどありません。今年になって当院でも採用され、島根県下では島根大学医学部附属病院に続いて二番目、松江地区では初めての導入となりました。カプセル内視鏡検査を受けていただきやすくならしました。健康保険制度の制約があり、受けていただく対象は小腸からの出血の可能性のある患者さんです。この検査は、胃カメラや大腸内視鏡に代わる検査でもありませんので胃カメラや大腸内視鏡を実施しても異常なく、小腸からの出血が疑われる場合のみとなります。最近では、脳梗塞や心臓の病気で血液の流れを改善させるために、アスピリン製剤を服用されている患者さんが非常

に増えていきます。この薬は非常に優れた効果を持つているため全世界で広く処方されていますが、胃、小腸および大腸などの消化管粘膜にびらんや潰瘍といった障害を起こす副作用があると知られていました。また、慢性腎障害や肝臓病の患者さんも消化管からの出血の頻度が比較的高い傾向にあります。原因のわからない貧血の場合、小腸からの出血の可能性もあります。このような患者さんで胃カメラや大腸内視鏡を行っても異常がないのに貧血が続く場合、この検査で原因が明らかとなるかもしれません。ご心配の患者さんは、かかりつけの先生とご相談いただき、当院消化器内科を受診してください。



チーム医療紹介

感染対策チーム

もともと私たちの体には感染が起きないように、また感染が起きてても感染症にまで至らないようにする力が備わっています。その力というのは、体の抵抗力や免疫力です。最近では人口の高齢化や医療の高度化に伴い、病院には重症の高齢者や低出生体重児、基礎疾患をもつていらつしやる方など、もともと免疫力の低下した患者さんが大勢訪れるようになりました。このような患者さんにカテーテルを挿入したり、手術など体に負担が大きい処置、強力な抗生物質の投与といった感染症の危険性をさらに高める医療処置を行なわなければならぬという現状があります。

当院では、感染症を起



こしやすい、感染を受けやすい患者さんを院内感染から守ることはもちろん

ん、患者さんに安全・安心な医療を提供するためにすべての職員が感染対策に取り組んでいます。その中心的な組織が院内感染対策委員会です。当

は昭和六十一年より活動しており、現在は病院長をはじめとして、医師、薬剤師、臨床検査技師、看護師、事務職員で構成されています。毎月一回開催している会議では、臨床検査技師が問題となる病原体（細菌やウイルス）がどのくらい検出されたのか報告し、薬剤師が抗菌薬の使用状況の報告を行い、報告内容を委員会全体で共有し、院内感染に繋がる事例ではないのかということに合わせて評価しています。また、今年のように新型インフルエンザが発生した場合は、病院として

どのように対応していくのか検討したり、マニュアルを作成するなどの活動も行なっています。そのほかの活動として、平成十九年度から医師と看護師による毎週一回の感

染対策院内ラウンドを開始しました。その週に発生した感染症患者さんの状態や治療を確認したり、現場での感染対策が適切に行われているのか調査（たとえば、手洗いが正しくできているのか、きちんと清掃ができているのかなど）を行って、当院の感染対策の現状を知り、研修会などに役立てています。

今後患者さんはもちろん、職員、病院を訪れるすべての人々を感染から守るために、感染を起こさないこと、拡げないことを目標に委員会では取り組んでいきますのでよろしくお願ひします。



10月採用医師紹介

リハビリテーション科 笠木 重人
「病気を治したい、少しでも元気にになりたい」、そんな皆様の願いに応えるようリハビリテーション部門は頑張っております。十月からその仲間に加わりました。院内各所に出没しますのでよろしくお付き合ひください。

麻酔科 宮本 達人
十月より着任しました。常に患者様にベストな麻酔を心がけております。よろしくお願ひします。

循環器内科 森下 孝臣
十月より働かせていただけたこととなりました。患者様のご期待に沿えるよう最大限の努力をさせていただきます。信条としておりますので、気づいたこと、不安なことがあれば、おっしゃって下さい。

登録医・パンフレットスタンド設置はじめました

当院の登録医との連携強化を目的に登録医の病院・医院のパンフレット・リーフレットを渡廊下に設置することとしました。

数ヶ所の病院・医院のパンフレット・リーフレットを置いていたところ、たいへん好評であったという間になくなってしまう、おあわてで補充しています。

みなさまの知りたい病院・医院のパンフレットがございましたら、どうぞご自由にお持ち帰り下さい。



地域医療連携課

ピンクリボン運動in松江 知ろう、語ろうがんなこと 2009



べく島根県との共同企画として開催されました。

ピンクリボン運動in松江は、乳がん検診の受診率を高め、早期発見・早期治療で一人でも多くの命を救おうという目的で、当院乳腺外科とがん相談支援センター、消化器外科病棟が企画し始まりました。

二年目となる今年は、「知ろう、語ろうがんなこと」と題して、九月はがん征圧月間ということもあり、がんに関心を持ち、考える機会を提供す

当日松江テルサ館内では、情報展示コーナーが設けられ、がん医療に関するパネルの展示や、患者会によるピンクリボングッズの販売なども行なわれました。当院も、ブレストケアチームを中心に展示ブースを設け、乳がん治療に関するパネルの展示や、視触診モデルによる自己検診コーナー、啓発ツールの配布などを通して、定期健診や早期治療の大切さを訴えました。

んという病、予防、早期発見のポイントなど、実際に出演されたTVの映像も交えながら、とても分かりやすく解説していただきました。

次に、がん患者塾が行なわれました。これは、島根県が始めたがん対策事業の一つで、患者とその家族、医療者、行政をはじめとする関係者が、対等な立場で意見交換し、互いの理解を深めることを目的としています。パネリストとして当院乳腺外科・村田陽子部長にも参加していただき、医師、一般市民、患者、行政の方々がそれぞれの立場からがん検診の基礎知識や、予防検診の大切さについて語っていただきました。



中川先生を囲んで

は、安来のおじの登場です。おがっちこと小片悦子さんとの名コンビで、会場の雰囲気がいっきに和み素晴らしき歌とギターの色は来場者の心に染みわたりました。

夕方からは、あいにくの雨模様となりましたが、恒例の松江テルサのピンク色のライトアップは、雨の駅前ロータリーに一層映え、足を止め、カメラを向けている人も少なくありませんでした。参加してくださった方々には、検診・受診の大切さを知る有意義な時間であったとの声をたくさんいただきました。幅広い年齢層の方に来ていただき、関心を持っていただけたのではないかと思います。

がんについては学んだ後乳がんは、早期発見・早期治療で恐ろしいものではなくなります。このイベントをきっかけに、乳がんへの関心を高めてもらい、またその輪が広がることで周りの人へとつなげ、乳がんで悲しむ人が一人でも少なくなればと思います。

認定看護師の紹介

乳がん看護認定看護師
林 美幸

こんには、私は乳がん看護認定看護師の林美幸です。二〇〇六年に乳がん看護認定看護師が誕生して以来、今年で一〇六名が認定されました。島根県は私を含め二名の乳がん看護認定看護師がいます。認定看護師の役割は、診断(病名告知)後の心理面のフォロー、治療選択を一緒に考えたり、補整下着の相談、リンパ浮腫の予防についての指導など乳がん患者のQOL(日常生活)が向上出来るように貢献することです。また、看護師への指導、勉強会の開催や相談に応じたりしながら乳がん看護の質の向上を目指しています。私は、現在病棟勤務のため入院している患者さんを中心に関わっています。具体的には、手術前にオリエンテーションを行ったり、手術の後の病理面談に同席し治

療を受けながら生活出来るように情報提供や相談を受けたりしています。十月は、ピンクリボン運動月間です。ピンクリボン運動とは、乳がんを亡くした母親が「同じ悲しみを繰り返さない」という思いから亡くなった娘の愛娘である孫にピンクのリボンを送ったことが始まりと言われています。今年も九月二十七日に松江駅前テルサをピンク色に染めるなど他職種の職員と共にピンクリボン運動を展開し、沢山の皆様に「自己検診、乳がん検診の大切さ」を呼びかけました。乳がんは、早期に発見すれば治る病気と言われています。乳がん認定看護師として、乳がんについて皆様と一緒に考え活動していきたいと思っておりますのでよろしくお願ひします。

毎年一回人間ドック受診を

〜早期発見のために〜

《松江赤十字病院健診センターの特徴》

松江赤十字病院健診センターでは、日本人間ドック学会認定医の資格を有する医師を含む二名の専従医師（日本内科学会認定医）が各種人間ドック、健診、検診を行っています。

また、精密検査が必要な場合は当院での専門医の診察を受けて頂くことが可能です。
健診、人間ドックの検査から専門医の診察まで当院のみで対応することが出来ます。



MRI

《内容について》

一日外来人間ドック、

PETがんドック、脳ドック、健診、検診事業等を行っています。
高血圧症、糖尿病、脂質異常症(高脂血症)などの生活習慣病の検査、また胃がん、肺がんなどの各種がんの検査などがあります。主にメタボリックシンドローム(脂肪症候群)に着目した特定健診も、ドック・健診受診者の方に併せて行ってあります。二〇〇九年一月よりは月々金曜日の週五日、一日外来人間ドックの受診者枠を以前よりも拡げて、行っております。
経年的に人間ドックを受けて頂きますと、がんを発見できる機会が増えますので、がんの罹患率が高くなる四〇才以上の方には、ぜひ一年に一回人間ドックを受けられることをお勧めします。

☆費用について

人間ドック 単価

男性 三六、七五〇円
女性 三九、九〇〇円

脳ドック 単価
男女共 四三、〇五〇円
PETがんドック
単価男女共
九九、七五〇円



PET

《PETがんドックはスペシャルコースも設定しています。》

Q&A

人間ドックは知っているとPETがんドックって何？

ブドウ糖に良く似た放射線医薬品を静脈注射し、約一時間の安静後PET/CT撮影をします。(約二〇分)

- 一、食事制限無しです。
- 二、静脈注射以外の痛みはありません。
- 三、一般的ながん検診は胃、肺、腸など其々の

検査をしますがPETがんドックは頭から膝の辺まで一度で出来ます。

- 四、がん細胞の活動の状態を撮影します。
- 五、悪性、良性かの判別に適しています。

松江赤十字病院健診センターでの人間ドック、企業健診、がん検診等のご利用を今後ともよろしくお願い致します。

ドックご予約
問い合わせ先

松江赤十字病院 健診係
電話 三三二六九〇〇 (直通)



【鶏肉と野菜の煮物】

☆料理の世界☆ かんたん「真空調理」

宋善謙 奥野将徳



真空調理は一流ホテルや病院給食などで活用されています。当院ではまだ活用していませんが、新病院では専用の真空調理器が導入されます。家庭でも簡単に、それご飯を炊きながら同時におかずも作れる真空調理を見つけたので紹介します。

【鶏肉と野菜の煮物】

鶏むね肉…160g、人参…1/4本
玉ねぎ…1/4個
しょうゆ・酒・みりん…各大さじ1杯

1. 鶏肉を1口大に切って水にさらし、水気を取っておきます。人参と玉ねぎは乱切りにします。
2. ポリ袋に1と調味料を加え、空気を抜いて結びます。
3. 炊飯器に2を入れ、ご飯と一緒に炊きます。

【調理手順】①お米を二合、炊飯器に準備しておきます。②切った材料と調味料をポリ袋に入れます。③ストローを使ってポリ袋の中の空気を抜いたら、しっかりとクルクルねじります。空気を抜けば抜くほど火の通りが良くなります。④ねじったポリ袋の上の方を結びます(根元を結びと破れず)。⑤ポリ袋を平らにして、用意しておいた炊飯器の中に入れます(熱を均等に伝えるために必ず平らにします)。⑥あとはお米を炊く時と同じようにスイッチを入れれば完了です。今回は二人分の材料で作る方を紹介しますが、材料もおかずも作りたいたときは、お米の目盛の線より上に袋が超えないようにしてください。